

# 社団法人日本透析医会通常総会資料

## 社団法人 日本透析医会通常総会

日 時 平成3年5月19日(日)午後3時  
場 所 東京グリーンホテル 2階 蔦の間

### 1. 開 会

### 2. 会長挨拶

### 3. 議長選出

### 4. 議事録署名人選任

### 5. 議 事

第1号議案 平成2年度事業報告及び収支  
決算の承認を求める件

第2号議案 平成3年度事業計画及び予算  
の承認を求める件

第3号議案 新役員の承認を求める件  
その他

### 6. 閉 会

## 第1号議案 平成2年度 事業報告

### I. 会 議

#### 1. 総 会

平成2年度 通常総会

平成2.5.13 第1号議案 平成元年度事業報  
告及び収支決算の承認を求める  
件

第2号議案 平成2年度事業計  
画及び予算の承認を求める件

第3号議案 内規の承認を求め  
る件

第4号議案 年会費の自動振替

の承認を求める件

その他

## 2. 理事会

平成2.5.13 協議事項

平成2年度通常総会提出議案について

第1号議案 平成元年度事業報告及び収支  
決算の承認を求める件

第2号議案 平成2年度事業計画及び予算  
の承認を求める件

第3号議案 内規の承認を求める件

第4号議案 年会費の自動振替の承認を求  
める件  
その他

### 報告事項

(1) 災害時救急透析医療システムのコンピ  
ュータ化の実施について

(2) 医療廃棄物の処理に対する医会の対応  
について

(3) 日本透析医会のシンボルマークの選定  
について

(4) 更生医療（指定医）の条件について〔高  
知・寺尾理事〕

(5) エリスロポエチン製剤を用いた治療に  
対するマニュアルの作成について〔高知・  
寺尾理事、愛知腎臓財団、厚生省研究班〕

(6) 木川田理事辞任について（平成2年4  
月16日付）

(7) その他

### 3. 常任理事会

#### 平成2. 5. 13 協議事項

- (1) 平成2年度通常総会について
- (2) 災害時救急透析医療システムのコンピュータ化の実施について
- (3) 医療廃棄物の処理に対する医会の対応について
- (4) 日本透析医会のシンボルマークの選定について
- (5) 更正医療（指定医）の条件について〔高知・寺尾理事〕
- (6) エリスロポエチン製剤を用いた治療に対するマニュアルの作成について〔高知・寺尾理事、愛知腎臓財団、厚生省研究班〕
- (7) 慢性透析療法の透析導入のガイドラインについて
- (8) 職員の給与ベース改訂について
- (9) その他

#### 報告事項

- (1) 平成元年度年会費納入状況について
- (2) 平成元年度入会金納入状況について
- (3) 会員の入・退会について
- (4) 腎臓移植組織適合検査費助成について
- (5) 第20回全腎協大会（5/20）祝電発送
- (6) 保険医療費改定説明会（4/8）出席者74名
- (7) その他

#### 平成2. 7. 21 協議事項

- (1) 災害時救急透析医療システムのコンピュータ化の実施について
- (2) 医療廃棄物対策委員会の設置について
- (3) 会員名簿の作成について
- (4) 第9回国際血液浄化学会について
- (5) 日本透析医会のシンボルマークについて
- (6) 今年度のシンポジウム開催について

#### 報告事項

- (1) 今年度臨床工学技士講習会について
- (2) 年会費の自動振替の実施状況について
- (3) 出版契約書について
- (4) 緊急性ブラッドアクセス（カテーテル法の必要性）テープについて
- (5) 職員の採用について
- (6) その他

#### 平成2. 9. 8 報告事項

- (1) シンポジウムの開催について
- (2) 医療廃棄物対策（要望書）について
- (3) 災害時救急透析医療システム（施設登録）の現状について
- (4) 年会費の納入状況について
- (5) 会員の入・退会について

#### 平成2. 11. 10 協議事項

- (1) 第5回腎移植推進月間後援に伴う経費の負担について  
今年度 6,443千円  
昨年度 6,672千円（参考）
- (2) 第9回国際血液浄化学会に対する寄付金について
- (3) 会員の慶弔について（申合せ）

#### 報告事項

- (1) 災害時救急透析医療システム（登録）について
- (2) 年会費の納入状況について
- (3) 会員の入・退会について
- (4) 大阪府での売腎報道について
- (5) 第3回シンポジウム「長期透析と合併症」について
- (6) 委員会の開催状況一覧
- (7) 委員会報告
  - (1) 合併症対策委員会
  - (2) 研修委員会
  - (3) 医療廃棄物対策委員会

### 平成3. 1. 19 協議事項

- (1) 感染症「医療廃棄物」に関する要望書について
- (2) 平成3年度通常総会について
- (3) 役員の変更について
- (4) 委員会の改編について
- (5) 日本透析医会としての寄付の基準について
- (6) 年会費等について
  - (1) 3年以上未納会員の処置について
  - (2) 1月以降入会会員の取扱いについて
- (7) 第9回国際血液浄化学会助成について
- (8) 第11回プラスマフェレーシス治療研究会助成について
- (9) 地域医療計画と透析患者収容病床の調査について  
(担当委員会の決定)
- (10) 会員の慶弔基準について
- (11) 職員の給与改訂について

#### 報告事項

- (1) 災害時救急透析医療システム（登録）について  
関連（ホストコンピューター保守料の支払いについて）
- (2) 会員の入・退会について
- (3) 委員会開催予定について
- (4) 第3回アクセス研究会開催について

### 平成3. 3. 16 協議事項

- (1) 平成3年度予算（概算）について
- (2) 年会費等未納会員（過去3年）の処理について
- (3) 臨床工学技士試験の期限の延長について  
(臨床工学技士法附則第3条、期限平成5年3月31日)
- (4) 全腎協20周年記念事業への助成について

- (5) 第45回胸部外科学会総会への助成について
  - (6) 災害時救急透析医療システム（登録）の現況  
「IDカード」について
  - (7) その他
- #### 報告事項
- (1) 年会費納入状況について
  - (2) 会員の入・退会者について
  - (3) 会費別会員数について
  - (4) 廃棄物処理法改正案の講演会開催について
  - (5) その他

## II. 委員会報告

### 1. 適正化委員会

#### (1) 地域審議システム小委員会

- ① 地域審議システム設置支部（新潟・栃木・愛知）に助成した。
- ② 「長期透析療法の開始と予後に関する国際シンポジウム」へ助成した。

#### (3) 適正化普及推進小委員会

（平成2年度2回開催）

- ① 医会活動の重要事項に関して協議を受け（今年度は災害時救急透析医療システム、医療廃棄物対策等）その都度地方支部を代表し、意見等の提言を行った。
- ② 第28回日本人工臓器学会に助成した。

### 2. 地域医療システム委員会

#### (1) 災害時救急透析医療小委員会

（平成2年度7回開催）

前年度からの継続事業である災害時緊急透析医療システム（登録）事業を開始した。

- ① 機器類の設置（設置場所の整備・ホスト

コンピュータの設置)

- ② 受付開始（施設登録・個人登録）
- ③ データ検証開始
- ④ 「災害パンフレット」の原案作成
- ⑤ 端末器6台の地域別設置施設の決定
- ⑥ 実施に向けての細部にわたる具体的事項について引き続き検討を行った。

## (2) 合併症対策小委員会

（平成2年度2回開催）

- ① 昭和63年度に実施した、糖尿病性腎症のアンケート中「眼症」についての分析を依頼した。
- ② 図書「透析患者の合併症とその対策」第3編—消化器合併症—の執筆者を選定し、依頼した。発刊は平成3年夏頃を予定している。

## 3. 腎移植普及推進委員会

（平成3年3月開催）

- ① 平成2年度腎移植推進月間及び第5回腎移植推進国民大会に助成した。
- ② 同推進月間のポスター及び小冊子「献腎」、パンフレットを会員に配布した。
- ③ 第4回日本透析医会「シンポジウム」開催を計画し、演題（假題）を「腎移植と透析医の在り方」と「移植機関と透析機関の連携について」とした。

## 4. 腎不全予防医学調査研究委員会

（平成2年度4回開催のうち2回は小委員会）

腎不全予防のための生活指導、食事、栄養療法、薬物療法などの実態、問題点などを調査検討した。また二年間検討を続けて来たハンドブック「腎不全マニュアル」を平成2年11月30日発刊した。

## 5. 研修委員会

（平成2年度4回開催）

委員会として次の事業を実施した。

- (1) 臨床工学技士指定講習会を開催した。  
会 場 神戸市 兵庫県私立病院協会  
神戸看護専門学校  
期 間 平成2年10月14日～平成3年2月10日 日曜コース  
受講者 106名（受講完了者105名）兵庫県支部に助成した。
- (2) 下記支部が開催した講習会・講演会に助成した。

支部名	会 場	開催年月日
北海道	第一製薬札幌支店	平成2年10月27日
青森県	五所川原市中央公民館	〃 2年4月15日
宮城県	良陵会館	〃 2年12月9日
富山県	富山市民プラザ	〃 3年3月24日
兵庫県	兵庫県私学会館	〃 3年3月24日
香川県	ホテルリッチ高松	〃 3年2月2日
高知県	高知県医師会館	〃 2年7月28日
鹿児島県	城山観光ホテル	〃 2年5月12日

- (3) 日本医工学治療研究会と共同主催し、研修セミナーを開催した。

会場	開催期日	出席者数
山梨医科大学講堂	平成2年9月23日	350名
京都私学会館	〃 2年11月23日	100名

- (4) 研修用 video 作成

① （CAPD アクセス・作り方・扱い方）  
企画・監修「日本透析医会研修委員会」  
学術指導 合屋忠信 で作成した。

② （緊急性ブラッドアクセスカテーテル法の必要性）  
企画・監修 「日本透析医会研修委員会」  
を作成し、会員に配布した。

- (5) 第3回アクセス研究会を開催した。

日時 平成3年3月3日(日)午前9時～午後5時

場所 津田ホール

一般演題 37題

シンポジウム 「Blood Access をめぐる  
諸問題」 司会 内藤秀宗  
シンポジスト 岩見沢市立総合病院 大  
平整爾ほか5名  
参加人員 350名

- (6) 第10回プラスマフェレーシス治療研究会  
に助成した。

トルーム

講師 荻島國男（厚生省生活衛生局水  
道環境部計画課長）

## 6. 広報委員会

寄稿論文及び第3回日本透析医会シンポジ  
ウム講演集を中心とした日本透析医会雑誌  
Vol. 6 No. 1（12号）を平成3年3月1日に  
発行し、全会員及び関係機関に送付した。

### (1) シンポジウム開催準備委員会

第3回日本透析医会「シンポジウム」開催  
テーマ 「長期透析と合併症」  
日時 平成2年11月10日(土) 午後1時～  
4時  
場所 県民共済会館 名古屋市中区古渡  
町11-13  
司会 藤田嘉一、前田憲志  
シンポジスト 信楽園病院 平澤由平ほか  
3名

### (2) 医療廃棄物対策委員会

(平成2年度3回開催)

- ① 「医療廃棄物処理ガイドライン」に対す  
る医会としての対応について協議し、「会員  
を対象にアンケート調査の実施」と厚生省  
に「要望書」を提出することを決定し、「要  
望書」は会務報告とおり関係に提出した。
- ② 講演会の実施  
テーマ 「廃棄物処理法改正案」の概要  
について  
日時 平成3年3月20日(水) 午後4時～  
5時  
場所 ホテルニュー神田 2Fパレッ

## 平成2年度収支決算書

## 1. 収支計算書(平成2年4月1日から平成3年3月31日まで)

(単位:円)

科 目	平成2年(案)	決 算 額	差 異	備 考
I 収入の部				
1. 会費収入	60,219,000	68,814,000	8,595,000	
2. 入会金収入	3,100,000	4,600,000	1,500,000	
3. 受講料収入	15,000,000	15,806,000	806,000	
4. 寄付金収入				
寄付金		500,000	500,000	
助成協賛金	18,850,000	32,725,000	13,875,000	
寄付金収入合計	18,850,000	33,225,000	14,375,000	
5. 受取利息収入	20,000,000	14,465,717	△ 5,534,283	
6. 雑収入		467,275	467,275	
当期収入合計(A)	117,169,000	137,377,992	20,208,992	
前期繰越収入差額	185,976,000	185,976,257	257	
収入合計(B)	303,145,000	323,354,249	20,209,249	
II 支出の部				
1. 事業費				
透析医療適正化事業費	17,702,000	16,886,795		
地域透析医療システム事業費	152,714,000	34,382,369		
腎移植普及推進事業費	17,016,000	6,624,170		
腎不全予防医学調査研究費	8,228,000	5,364,822		
研修等事業費	34,310,000	33,430,948		
広報活動費	10,857,000	1,621,714		
在宅透析医療委員会費	700,000	0		
第2次医療法改正委員会費	1,436,000	0		
その他学会助成等	0	0		
事業費合計	242,963,000	98,310,818	△144,652,182	
2. 管理費				
人件費	14,948,000	14,332,268		
家賃	6,000,000	5,929,408		
その他経費	14,089,000	12,276,511		
管理費合計	35,037,000	32,538,187	△ 2,498,813	
3. 固定資産取得支出				
什器備品支出		75,139,680	75,139,680	
4. 予備費	10,000,000	0	△ 10,000,000	
5. 基本財産組入額	10,000,000	10,000,000	0	
当期支出合計(C)	298,000,000	215,988,685	△ 82,011,315	
当期収支差額(A)-(C)	△180,831,000	△ 78,610,693	102,220,307	
次期繰越収支差額(B)-(C)	5,145,000	107,365,564	△102,220,564	

## 2. 正味財産増減計算書(平成2年4月1日から平成3年3月31日まで) (単位:円)

科 目	金 額		
I 増加の部			
1. 資産増加額			
什器備品購入額	75,139,680		
基本財産組入額	10,000,000	85,139,680	
2. 負債減少額	0	0	
増加額合計			85,139,680
II 減少の部			
1. 資産減少額			
当期収支差額	78,610,693		
建物附属設備減価償却額	30,160		
什器備品減価償却額	2,798,394		
災害時システム設備減価償却額	16,096,843	97,596,090	
2. 負債増加額	0	0	
退職引当金繰入額	453,089	453,089	
減少額合計			97,989,179
当期正味財産減少額			12,849,499
前期繰越正味財産額			461,800,428
期末正味財産合計額			448,950,929

## 3. 貸借対照表(平成3年3月31日現在)

(単位:円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	111,470,712		
仮払金	22,000		
流動資産合計		111,492,712	
2. 固定資産			
基本財産			
定期預金	270,000,000		
基本財産合計	270,000,000		
その他の固定資産			
建物附属設備	182,236		
什器備品	6,149,631		
災害時システム設備	59,042,837		
電話加入権	313,700		
保証金	6,350,000		
その他の固定資産合計	72,038,454		
固定資産合計		342,038,454	
資産合計			453,531,166
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	124,599		
預り金	4,002,549		
流動負債合計		4,127,148	
2. 固定負債			
退職給与引当金	453,089		
固定負債合計		453,089	
負債合計			4,580,237
III 正味財産の部			
正味財産			448,950,929
(うち基本金)			(270,000,000)
(うち当期正味財産減少額)			(12,849,499)
負債及び正味財産			453,531,166



## 4. 計算書類に対する注記

## 1. 重要な会計方針

## (1) 固定資産の減価償却について

有形固定資産については、定率法による減価償却を実施している。

## (2) 資金の範囲について

資金の範囲には、現金・預金、及び仮払金、及び預かり金を含めている。

なお、当期末残高は、下記3に記載するとおりである。

## 2. 基本財産の増減額及びその残高は、次の通りである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
定期預金	260,000,000	10,000,000	0	270,000,000
合計(基本金)	260,000,000	10,000,000	0	270,000,000

## 3. 次期繰越収支差額の内容は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当 期 末 残 高
現金預金	111,470,712
仮払金	22,000
合 計	111,492,712
未払金	124,599
預り金	4,002,549
合 計	4,127,148
次期繰越収支差額	107,365,564

## 4. 有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価格	減価償却累計額	当期末残高
建物附属設備	322,907	140,671	182,236
什器備品	16,134,221	9,984,540	6,149,681
災害時システム	75,139,680	16,096,843	59,042,837
合 計	91,596,808	26,222,054	65,374,754

科 目	金 額		
電話加入権	313,700		
保証金 淡路建物ビル保証金	6,300,000		
警備保証金	50,000		
その他固定資産合計	72,038,454		
固定資産の合計		34,203,854	
資産合計			453,531,166
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金 その他未払金	124,599		
預り金 職員等に対する源泉所得住民税	254,149		
その他預り分	34,400		
翌年度会費預り分	14,000		
預託金	3,700,000		
流動負債合計		4,127,148	
2. 固定負債			
退職給与引当金	453,089		
固定負債合計		453,089	
負債合計			4,580,237
正味財産			448,950,929

### 管理費内訳

給料・賃金	12,596,331
法定福利費	1,241,717
通勤費	494,220
旅費交通費	792,745
交際接待費	1,014,386
福利厚生費	73,989
印刷製本費	784,950
通信費	1,631,663
消耗品費	1,299,726
委託費	3,649,724
報酬（要源泉）	666,666
水道光熱費	477,717
リースレンタル	5,929,408
諸会費	261,900
租税公課	1,000
テープライト	40,170
雑費	329,375
常任理事会費	641,854
総会・理事会費	610,646
合 計	32,538,187

## 5. 財産目録（平成3年3月31日現在）

（単位：円）No.1

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
現金	現金手許有高	2,604	
普通預金	三菱銀行神田支店	4,391,779	
	住友銀行神田支店	153,422	
	第一勧業銀行神田支店	219,484	
	三井銀行神田支店	105,980	
	協和銀行神田支店	12,603,979	
	三菱銀行神田支店（人口臓器）	63,464	
郵便振替		230,000	
定期預金	三菱銀行神田支店	90,000,000	
	協和銀行神田支店	3,700,000	
仮払金		22,000	
流動資産合計			111,492,712
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	三菱銀行神田支店	270,000,000	
(2) その他の固定資産			
建物付属設備			
間仕切工事		182,236	
什器備品			
会議用テーブル		104,802	
会議用椅子		342,315	
事務用椅子		57,480	
FAX 及びソーター		49,067	
ワードプロセッサ		143,948	
パーソナルコンピューター		146,298	
ゼロックスコピー機		413,289	
IBM S 38		1,317,979	
IBM ソフト		3,317,116	
NEC PC 980		257,387	
災害時システム設備			
建物付属設備			
電源増設工事		2,265,883	
日本ユニシス2200設備工事		41,179,179	
什器備品			
日本ユニシス2200/200 SX		41,179,179	
日本ユニシス ソフト		11,329,597	

## 第2号議案 平成3年度事業計画書(案)

### 事業計画の概要

#### 1. 透析医療の適正化に関する調査・研究事業

- ① 適正な透析療法の検討に関する調査・研究

##### 適正透析療法委員会

- \* 透析療法の質的向上と普遍化を目的とする調査・研究

##### 第一委員会

適正な導入時期に関する調査研究

##### 第二委員会

適正な維持透析療法に関する調査研究

##### 第三委員会

同上の療法の普及推進を行う

##### 第四委員会

適正な透析医療経済に関する調査研究

##### 第五委員会

医療廃棄物対策に関する調査研究

##### 第六委員会

在宅治療の(CAPD・家庭透析等)の適応基準の調査・研究

#### 2. 地域透析医療システムに関する調査・研究

- \* 透析施設間の相互連携による地域透析医療システムを確立するための調査・研究
- ① 災害時に於ける救急透析医療システムの作成に関する調査・研究

##### 災害時救急透析医療委員会

- イ 施設登録・患者登録の調査、入力及び検証に関する事業
- ロ コンピュータ化に伴う他委員会との整合性の検討
- ハ ブロック別災害時救急透析医療システ

ムの構築

- ニ 災害等のための患者透析登録証の発行
- ② 長期透析患者の合併症に対する調査研究

##### 合併症対策委員会

- イ 透析導入の初発原因(原疾患・病因等)に関する調査・研究
- ロ 患者の高齢化に伴う収容施設の相互連携化に対する調査・研究
- ハ 患者の長期生存に伴い発生する合併症及びその原因に対する調査・研究(今年度は感染症疾患に対する治療指針の作成)

#### 3. 腎移植普及推進に関する事業

##### 腎移植普及推進委員会

- \* 会員および患者に対しての協力・普及を目的とする
- イ 腎移植推進月間・腎バンク及び地方腎移植推進システムへの協力事業
- ロ 会員に対する腎移植の啓蒙・教育事業(脳死問題を含む講演会及び腎移植広報活動等)
- ハ 患者に対する腎移植推進事業(会員の日常業務として、地区患者を対象とする推進事業)
- ニ 関係団体への協力事業(医療施設や遺族に対するドネーションの啓蒙)
- ホ 腎移植コーディネーター問題の研究

#### 4. 腎不全予防医学の調査・研究事業

##### 腎不全予防医学調査研究委員会

- \* 透析導入を予防し残腎機能を維持させるための事業
- イ 透析導入前の慢性腎不全患者に対する保存的維持療法の調査・研究事業

- ロ 関係団体への協力事業

## 5. 研修等事業

### 研修委員会

- イ 臨床工学技士現任者講習会の開催
- ロ 腎不全臨床医療スタッフの研修会の開催
- ハ 研修用ビデオの製作及び出版事業
- ニ 関係学会・団体との研究協力
- ヘ 国内講演会等の開催

## 6. 広報活動及び刊行物の発行に関する事業

### 広報委員会

- イ 機関誌等の発行
  - 雑誌 1,300部（年4回発行）
  - 名簿 1,500部
- ロ シンポジウムの開催

## 7. その他の事業

### 情報管理委員会

- \* 医会が行う各種のアンケート調査結果の管理運用

## 平成3年度予算(案)

## 〔収入の部〕

(単位:円)

区 分	平成2年度予算	平成3年度 予算(案)	増 減
1. 会費収入	60,219,000	64,000,000	3,781,000
2. 受取利息	20,000,000	25,000,000	5,000,000
3. 入会金収入	3,100,000	4,200,000	1,100,000
4. 前年度繰越金	185,976,000	107,365,564	△ 78,610,436
5. 寄附金収入	18,850,000	60,000,000	41,150,000
6. 受講料収入	15,000,000	10,000,000	△ 5,000,000
7. 雑収入			
計	303,145,000	270,565,564	△ 32,579,436

## 〔支出の部〕

区 分	平成2年度予算	平成3年度 予算(案)	増 減
1. 事業費	242,963,000	199,260,000	△ 43,703,000
2. 管理費	35,037,000	38,440,000	3,403,000
3. 子備費	10,000,000	6,000,000	△ 4,000,000
4. 次年度繰越金	5,145,000	26,865,564	21,720,564
5. 基本財産組入額	10,000,000	0	△ 10,000,000
計	303,145,000	270,565,564	△ 32,579,436

区 分	平成2年度予算	平成3年度 予算(案)	増 減
基本財産累計	270,000,000	0	0

## 支出の部内訳

(単位：円)

区 分	平成2年度予算	平成3年度 予算(案)	増 減
I.事業費	242,963,000	199,260,000	△ 43,703,000
(調査研究事業費)			
(1)透析医療の適正化	19,182,000	10,160,000	△ 9,022,000
(1) 第一委員会	(5,446,000)	(3,000,000)	△ (2,446,000)
(2) 第二委員会	(3,116,000)	(2,360,000)	△ (756,000)
(3) 第三委員会	(9,140,000)	(2,000,000)	△ (7,140,000)
(4) 第四委員会	(780,000)	(1,000,000)	(220,000)
(5) 第五委員会	0	(1,000,000)	(1,000,000)
(6) 第六委員会	(700,000)	(800,000)	(100,000)
(2)地域透析医療システム	152,714,000	79,800,000	△ 72,914,000
(1) 災害時救急透析医療委員会	(147,684,000)	(74,000,000)	△(73,684,000)
(2) 合併症対策委員会	(5,030,000)	(5,800,000)	(770,000)
(3)腎移植普及推進	17,016,000	8,600,000	△ 8,416,000
(4)腎不全予防医学の調査研究費	8,228,000	5,200,000	△ 3,028,000
(5)研修等事業費	34,310,000	20,000,000	△ 14,310,000
(6)広報活動費	10,857,000	14,000,000	3,143,000
(7)その他の事業	656,000	61,500,000	60,844,000
(1) 情報管理委員会		(1,000,000)	(1,000,000)
(2) 内規委員会	(656,000)	(500,000)	△ (156,000)
(3) 学会助成費	0	(60,000,000)	(60,000,000)
II.管理費	35,037,000	38,440,000	3,403,000
(1)人件費	14,948,000	19,000,000	4,052,000
(2)家賃	6,000,000	5,600,000	△ 400,000
(3)その他経費	14,089,000	13,840,000	△ 249,000
III.子 備 費	10,000,000	6,000,000	△ 4,000,000
IV.次年度繰越金	5,145,000	26,865,564	21,720,564
V.基本財産組入額	10,000,000	0	△ 10,000,000
計	303,145,000	270,565,564	△ 32,579,436

## 第3号議案

## 役員名簿

役 職 名	氏 名	現 職
会 長 (関 東)	稲 生 綱 政	医療法人平和会平和病院名誉院長 医療法人大坪会東和病院 院長
副 会 長 (中 部)	平 澤 由 平	社会福祉法人 信楽園病院 副院長
副会長兼専務理事 (中 部)	太 田 裕 祥	社会保険中京病院名誉院長
常 務 理 事 (関 東)	鈴 木 満	医療法人松園会 理事長
常 務 理 事 (関 東)	吉 田 豊 彦	医療法人誠人会 理事長
常 務 理 事 (関 西)	山 川 眞	医療法人仁真会 理事長
理 事	太 田 和 夫	東京女子医科大学 教授
	翁 久次郎	財団法人厚生年金事業振興団 理事長
	小 出 桂 三	帝京大学医学部 教授
	杉 野 信 博	東京女子医科大学 教授
	前 田 貞 亮	前田記念腎研究所
	三 村 信 英	国立佐倉病院院長
	石 丸 隆 治	勸ヒューマンサイエンス振興財団専務理事
	松 田 鈴 夫	㈱時事通信社解説委員
(北海道)	今 忠 正	札幌北クリニック 院長
(北海道)	猪野毛 健 男	いのけ医院 院長
(東 北)	関 野 宏	医療法人宏人会 理事長
(東 北)	岩 瀨 国 人	医療法人清和会岩手 クリニック水沢院長
(中 部)	鈴 木 信 夫	医療法人研信会刈谷中央クリニック 院長
(中 部)	長谷川 辰 寿	医療法人有仁会守山友愛病院 院長
(関 西)	飯 田 喜 俊	大阪府立病院腎臓内科部長
(関 西)	中 橋 彌 光	社会福祉法人京都事業財団理事 西陣病院院長
(関 西)	藤 田 嘉 一	兵庫医科大学 教授
(中 国)	辰 川 自 光	医療法人辰川会 理事長
(中 国)	高 杉 敬 久	博愛病院 院長
(四 国)	寺 尾 尚 民	医療法人尚腎会 理事長
(九 州)	後 藤 宏 一 郎	後藤クリニック 院長
(九 州)	工 藤 寛 昭	工藤病院 院長
(九 州)	牧 角 仙 丞	医療法人明星会 理事長
監 事 (中 部)	大 森 伯	大森内科医院 院長
(関 東)	高 宮 治 生	栃木県厚生連下都賀総合病院 院長
(九 州)	山 口 弾 之	医療法人至誠会 理事長